

玉名市公共下水道事業経営戦略(第3期)(概要版)

1 はじめに

「玉名市公共下水道事業経営戦略(第3期)」は、経営環境の変化に適切に対応し、計画的な施設の更新、徹底した効率化と経営の健全化への一層の取組を推進することにより、市民生活に重要な下水道サービスを将来にわたり持続的・安定的に提供していくための指針として策定するものです。

計画期間: 令和8年度から令和17年度

3 基本方針と経営健全化の取組み

基本方針1 経営の健全化と経営基盤の強化

取組① 職員の確保と人材育成

業務を遂行できる人員の確保を図りつつ、将来の下水道事業を担う人材を育成するため、各種研修への積極的な参加を推進します。

取組② 水洗化率向上に向けた取組

広報紙や市ホームページ等を通じた啓発活動や、下水道への接続距離が長い場合に補助を行う宅内つなぎ込み補助金制度(※要件有)等により、下水道未接続者に対する接続助費を継続して実施します。

取組③ 効率的な投資と投資の平準化

ストックマネジメント計画に基づき計画的に改築・更新を行い、投資時期の集中による一時的な財政負担を避け、各種投資事業の優先順位を考慮し効率的に行います。

取組④ DXの推進

下水道台帳のクラウド化や、デジタル化による検計の効率化、また施設等の改築・更新の際には、ICTを活用したシステムの導入等についても検討し、さらなる業務の効率化を図ります。

取組⑤ 使用料の検討

投資の平準化や事業の見直し、民間活力等による効率化・経費削減に努めつつ、使用料の検討を行います。併せて、使用料の収納率向上についても取り組み、財源の確保に努めます。

2 基本理念

経営の基本理念、基本方針及び効率化・経営健全化への取組として9つの取組、また、特に経営基盤の強化を図るため、3つの経営目標を設定しました。

■基本理念

「持続可能な下水道サービスの提供とそれを支える経営基盤の強化」

基本方針2 下水道施設の適正な管理と更新

取組⑥ 施設の長寿命化と耐震化対策

ストックマネジメント計画に基づき施設の長寿命化と耐震化について計画的な改築・更新を行います。また、予防保全型の対策を行うことにより施設の健全性を保ち、安定した下水道サービスを提供します。

取組⑦ 効率的な施設の管理と更新

予防保全に努め、適切な施設の管理と更新を行います。また、省エネルギー機器等の導入やICTを活用した施設管理の効率化・省力化を図ります。

取組⑧ 民間活力の活用

業務内容の見直しなど委託費、薬品費等の経費の抑制を図りながら、ウォーターPP等についても検討を行い、更なる民間活力の導入について取り組みます。

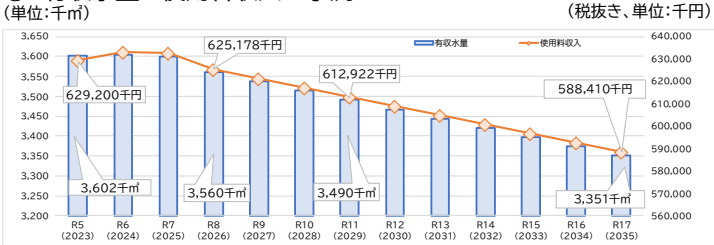
基本方針3 危機管理体制の強化

取組⑨ 危機管理体制の強化

「玉名市下水道事業業務継続計画」に基づき、被災時の体制強化を図るとともに、定期的に見直しを行います。また、今後も他団体との連携、広域化を模索し、災害時における連携強化についても検討を行います。

5 有収水量と投資の見通し

① 有収水量と使用料収入の予測

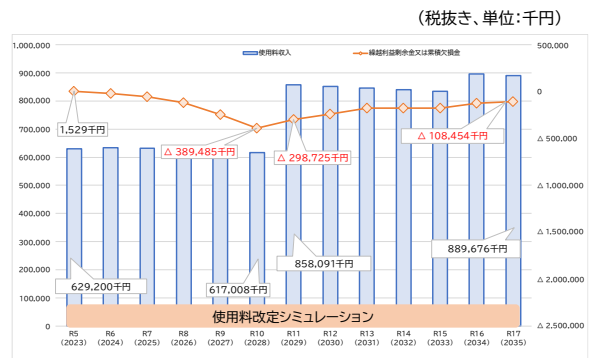
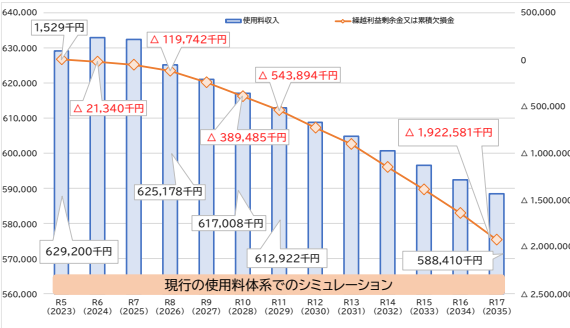


② 投資の見通し

項目	R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	R16(2034)	R17(2035)	合計
計画・設計等(建物・地質調査、実施設計等)	124,200	83,200	56,700	72,400	56,700	38,700	35,000	68,000	70,700	35,000	640,600
未普及対策											
汚水枝線整備	112,100	49,000	87,000	102,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	650,100
公共ます設置	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	1,000,000
改築・更新											
管更生	100,900	101,200	101,200	101,200	106,540	106,540	106,540	106,540	106,540	106,540	1,043,740
管渠カメラ調査	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	200,000
ポンプ場、処理場	410,000	410,000	410,000	410,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	4,340,000
耐震化工事(管渠)	0	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	450,000
長洲町浄化センター建設負担金	68,680	90,486	109,185	109,185	109,185	109,185	109,185	109,185	109,185	109,185	1,032,646
合計	935,880	903,886	934,085	964,785	942,425	924,425	920,725	953,725	956,425	920,725	9,357,086

6 投資・財政計画

現行の使用料・累積欠損金等の推移と使用料改定シミュレーション



現行のシミュレーションによると、使用料収入は令和8年度見込み625,178千円から、令和17年度には588,410千円となり、6億円を割り込み、累積欠損金は1,922,581千円となり、経営目標を達成できない見込みです。そのため、経営目標達成に向けて、2回に分けて現行使用料の約151%の使用料改定(令和11年度に140%、さらに令和16年度に108%)を行うことを想定しシミュレーションを行いました。令和17年度には累積欠損金を現行の使用料体系でのシミュレーションより18億円以上削減することが可能となり、その他の目標①②についても達成する見込みです。

7 経営戦略の事後検証・更新

本戦略は、企業局上下水道総務課が中心となって実施します。投資等や整備、更新等の進捗状況は上下水道工務課が管理し、議会や市民等からの意見を反映して適切に公表等を行うとともに、経営戦略を推進します。また、見直しについては、原則として5年ごとに実施します。毎年度進捗管理を行い、本戦略の修正が必要な場合は随時見直しを行います。

4 現状と課題、それを踏まえた経営の目標

重要指標の状況

経営指標	R4	R5	R6	評価	類団平均(R6)
1. 管渠老朽化率(%)	0.00	1.02	1.47	○	3.24
2. 経常収支比率(%)	102.95	100.12	98.61	△	106.35
3. 企業債残高対事業規模比率(%)	433.91	385.47	391.56	○	698.04
4. 経費回収率(%)	100.00	100.00	100.00	○	97.98
5. 汚水処理原価(円/㎡)	166.02	174.68	175.60	×	159.75
6. 水洗化率(%)	87.79	87.89	88.92	×	93.08

経営の目標

指標等	令和6年度(実績)	令和11年度(目標)	令和17年度(目標)
目標① 経常収支比率100%の達成			
経常収支比率(%)	98.61%	100.00%	100.00%
目標② 経費回収率100%の維持			
経費回収率(%)	100.00%	100.00%	100.00%
目標③ 累積欠損金の低減			
累積欠損金	△21,340千円	累積欠損金の低減	累積欠損金の低減

4は、100%で維持していますが、5が高いため、今後経営の効率性を低下させる要因となります。1は法定耐用年数を経過した管渠が出てきたため数値が上昇しています。2と6は令和6年度時点で100%を下回っているため改善に努める必要があります。

